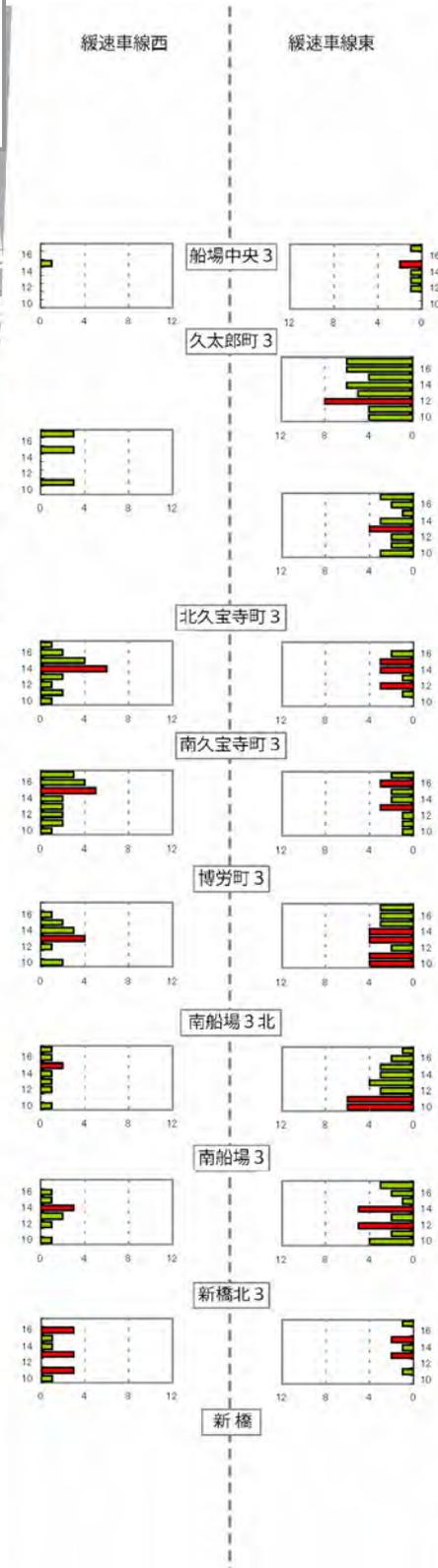
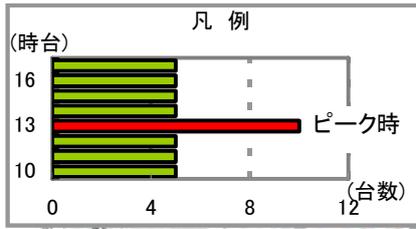


図 御堂筋の緩速車線における駐停車台数

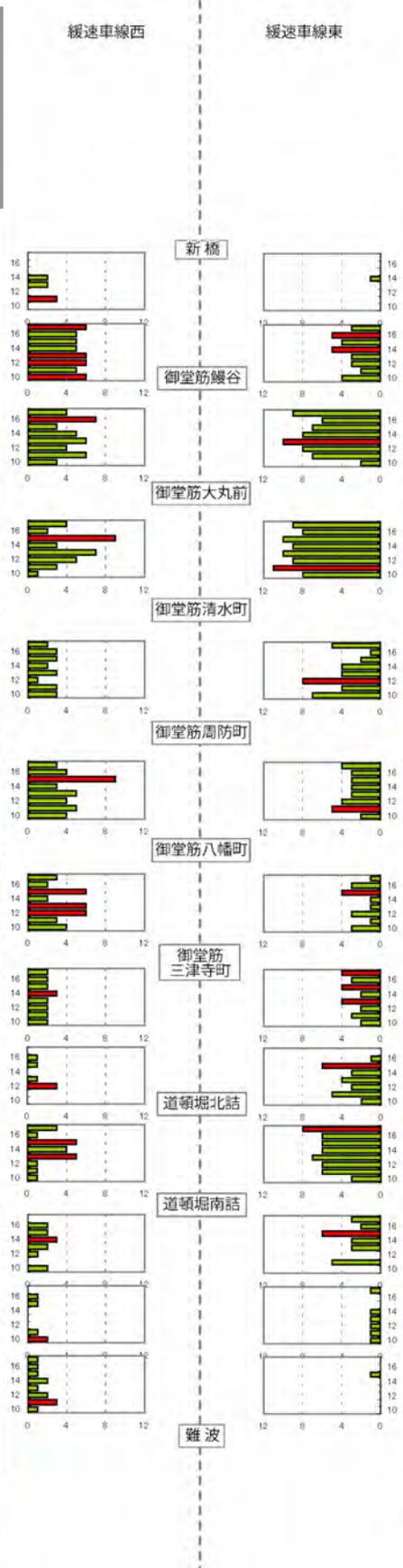
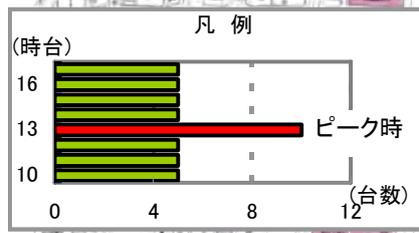


船場中央3～新橋

□ : 常時駐停車数がある街区

資料 : 大阪国道事務所独自調査 (H21)

図 御堂筋の緩速車線における駐停車台数



新橋～難波

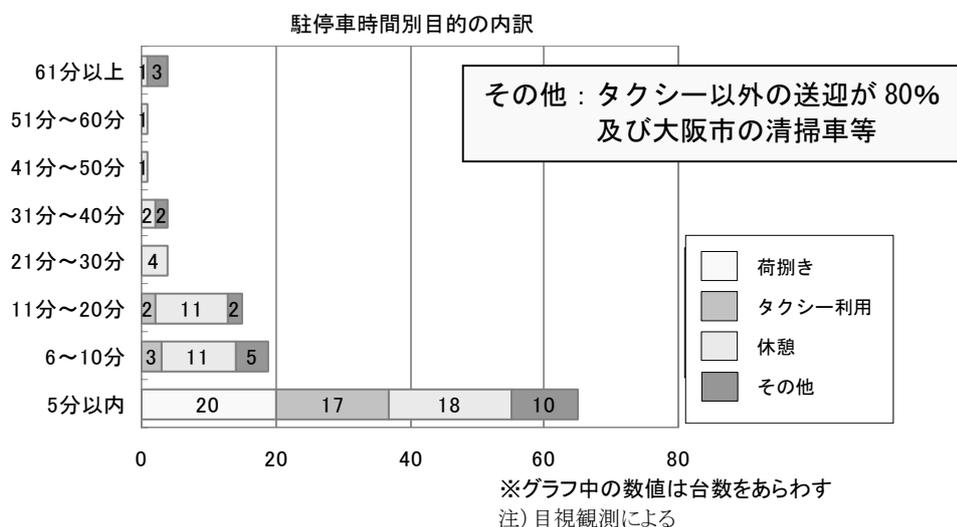
: 常時駐停車数がある街区

資料 : 大阪国道事務所独自調査 (H21)

④ 路上停車車両の停車時間と業務内容

- 本町周辺の緩速車線における駐停車車両の停車時間及び目的内訳を見ると、5分以内の短時間停車が最も多い。
- 「荷捌き」での駐停車は、5分以内の短時間となっている。

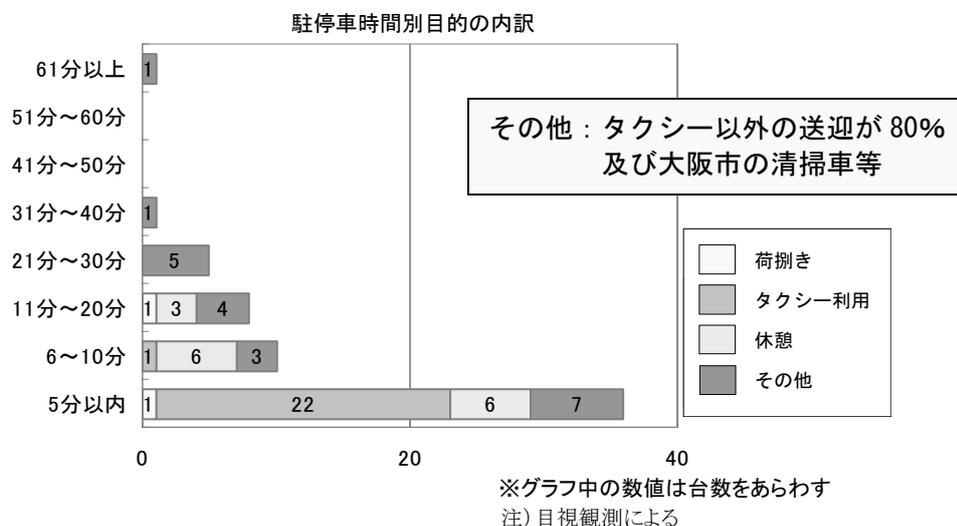
図 本町の緩速車線における平日（8～17時台）の駐停車車両の停車時間及び目的内訳
 <本町（淡路町3～瓦町3交差点間）>



資料：大阪国道事務所独自調査(H20)

- 心斎橋周辺の緩速車線における駐停車車両の停車時間及び目的内訳を見ると、本町と同様に、5分以内の短時間停車が最も多い。
- 「荷捌き」は、最大でも20分以内である。
- また、客の乗降のみのタクシー利用は全て5分以内であるが、客を降ろした後に休憩、作業をしている場合がある。

図 心斎橋の緩速車線における平日（8～17時台）の駐停車車両の停車時間及び目的内訳
 <心斎橋（南船場3～新橋北交差点間）>

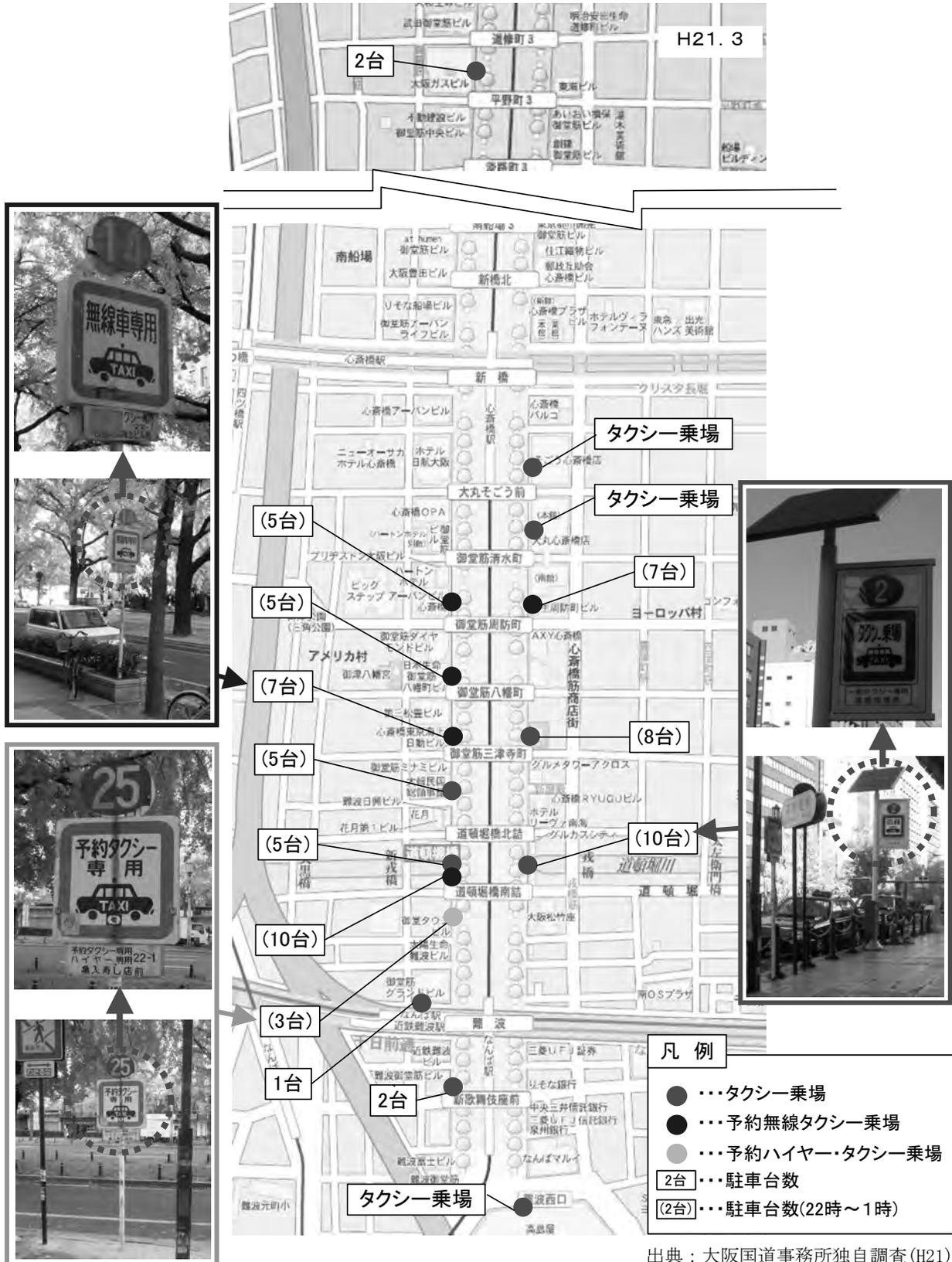


資料：大阪国道事務所独自調査(H20)

⑤ タクシー乗り場の位置

- 新橋交差点から難波交差点間に、タクシー乗り場が多く設置されている。

図 タクシー乗り場の位置図



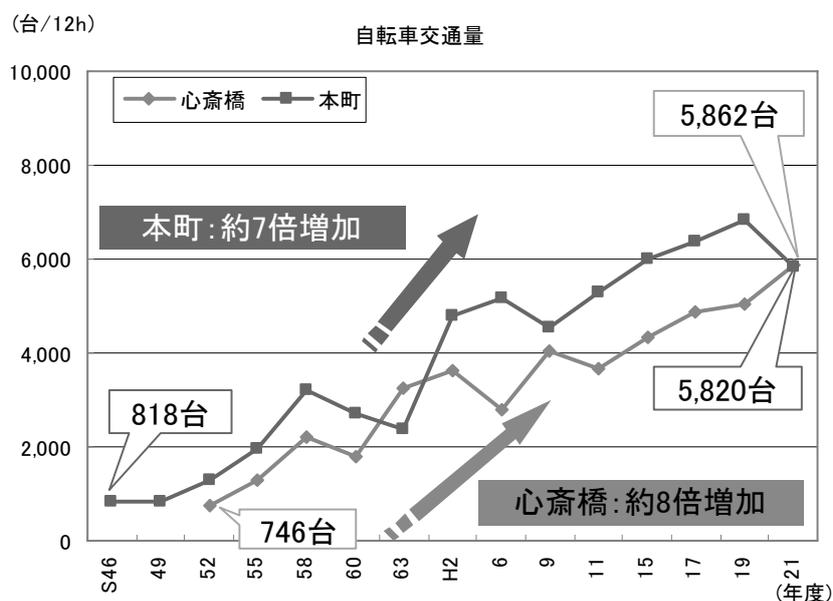
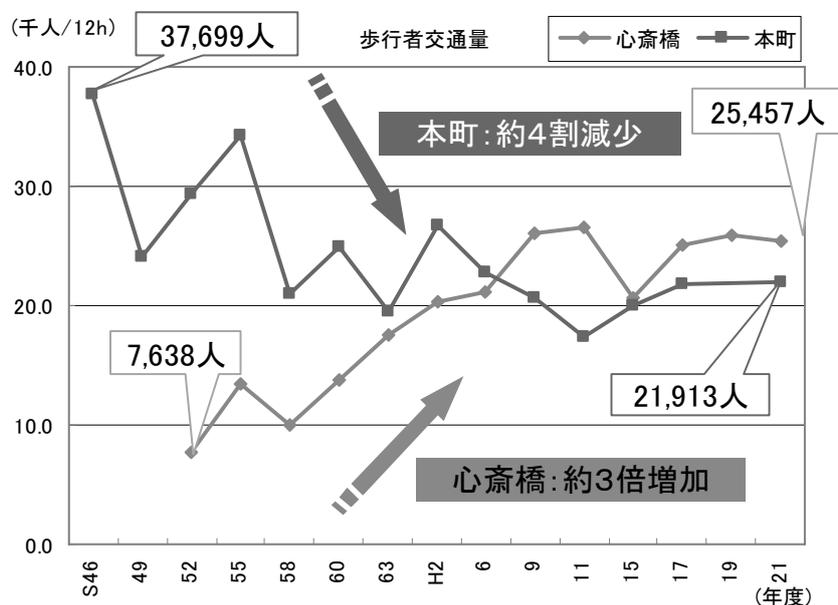
(3) 歩行者・自転車交通

- ・御堂筋の歩行者・自転車交通量は増加傾向が続いている。特に自転車交通量は約40年前の約7～8倍と大きく増加している。
- ・御堂筋の自動車交通量は市内の下位ランクであるが、その一方で歩行者・自転車交通量は上位ランクである。

① 歩行者・自転車交通量の変遷

- ・歩行者交通に着目すると、心齋橋は約3倍に増加、本町は約4割減少であるが近年は増加傾向にある。
- ・自転車交通に着目すると、心齋橋は約7倍、本町は約8倍と大きく増加している。

図 歩行者・自転車交通量の変遷

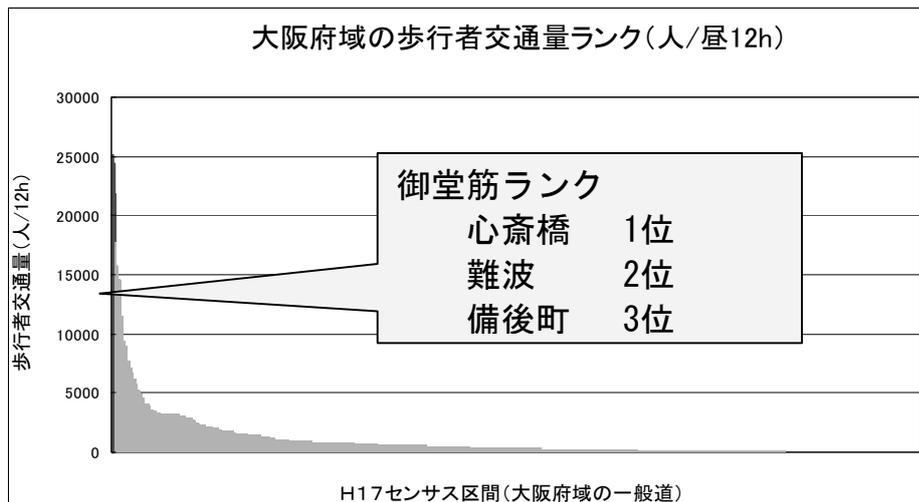


資料：各年度の道路交通センサス【H15年度、H19年度、H21年度は大阪国道事務所調査】

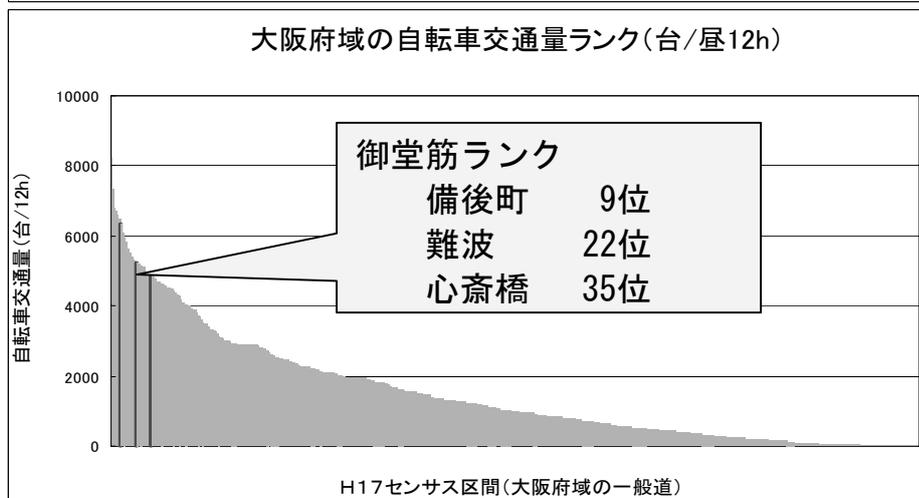
② 歩行者・自転車交通量の状況

- 御堂筋の歩行者・自転車交通量の状況は、大阪府内の一般道について比較（H17センサス・695区間^{※1}）すると、歩行者数は大阪府内で1位、2位、3位とトップ3を占める。
- 自転車数についても9位、22位、35位と府内でも上位である
- なお、車道部の混雑度は、520位、610位、650位と下位である。

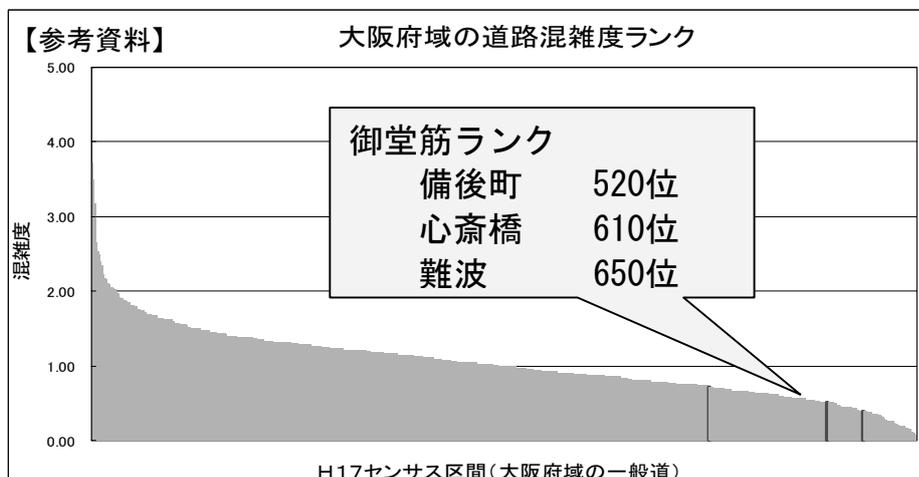
図 御堂筋、歩道・車道の歩行者・自転車数の状況



【※1：センサス区間】
調査対象路線は、一般国道、主要地方道、一般都府県道、指定市の一般市道であり、自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、歩行者専用道路は調査対象路線ではない。



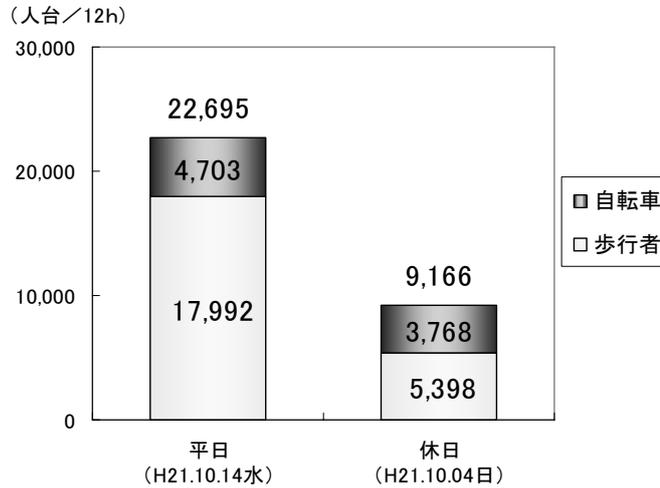
■ 1位
大阪高槻京都線
【天神橋】
■ 2位
大阪生駒線
【諸口】
■ 3位
大阪環状線
【都島北通】



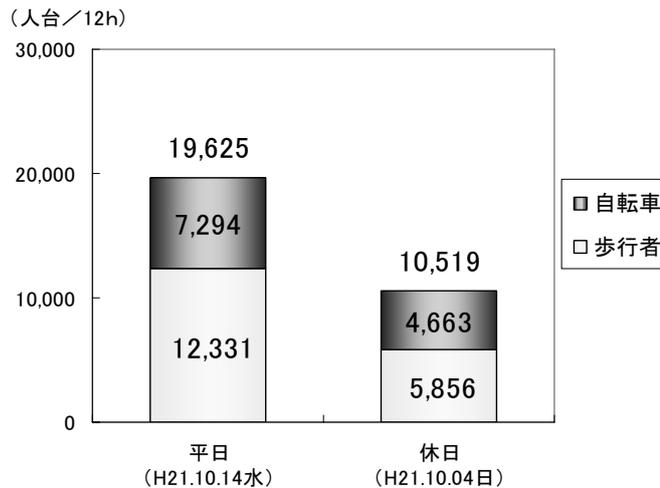
③ 平日、休日別・歩行者・自転車の交通量

- 淀屋橋・船場中央3交差点の歩行者・自転車交通量は、平日で約2万人台/12時間、休日は約1万人台/12時間となっており、平日が休日の約2倍と多い。
- 新橋交差点では平日・休日ともに約2.5万台/12時間となっている。

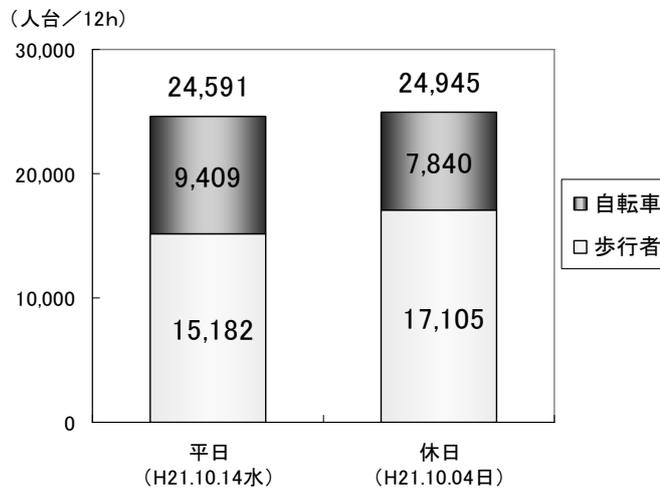
図 御堂筋（東西歩道計）の歩行者・自転車交通量



<淀屋橋交差点南側>



<船場中央3交差点北側>



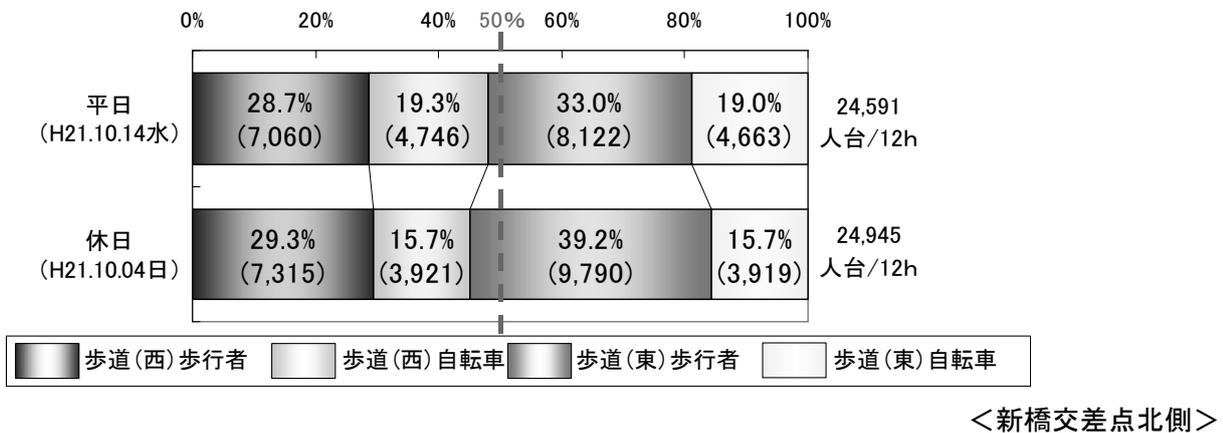
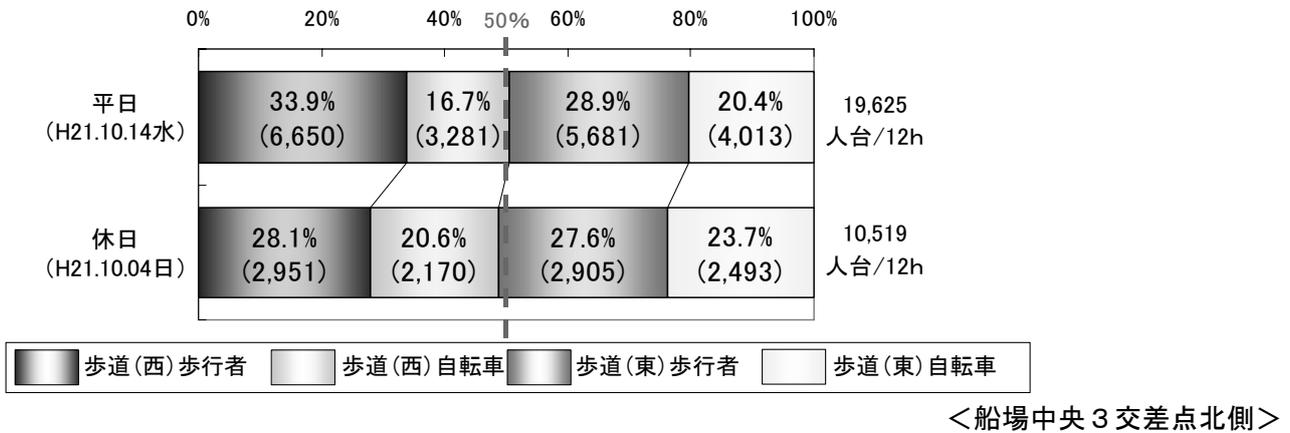
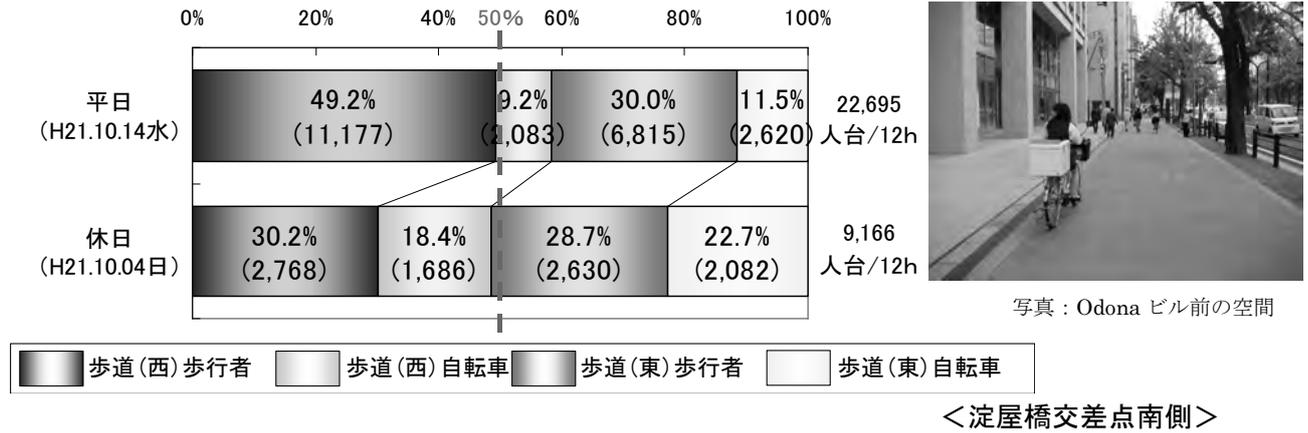
<新橋交差点北側>

資料：大阪国道事務所独自調査(H21)

④ 東西歩道の交通量の比較

- 淀屋橋の平日では西側の方が多。
- Odonal ビルの建設により歩行空間が広がり、歩行者が通行しやすくなった事が考えられる。
- それ以外の船場中央や新橋では平休ともに東側の歩行者・自転車交通量が多くなっている。

図 御堂筋東側・西側歩道における歩行者・自転車交通量の分担割合

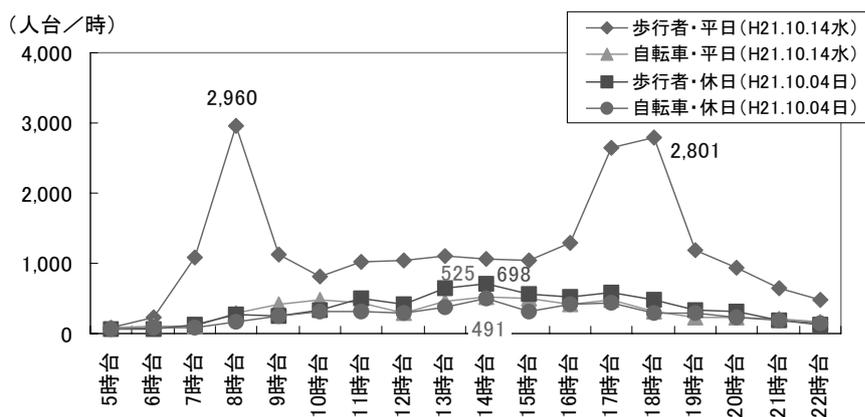


資料：大阪国道事務所独自調査(H21)

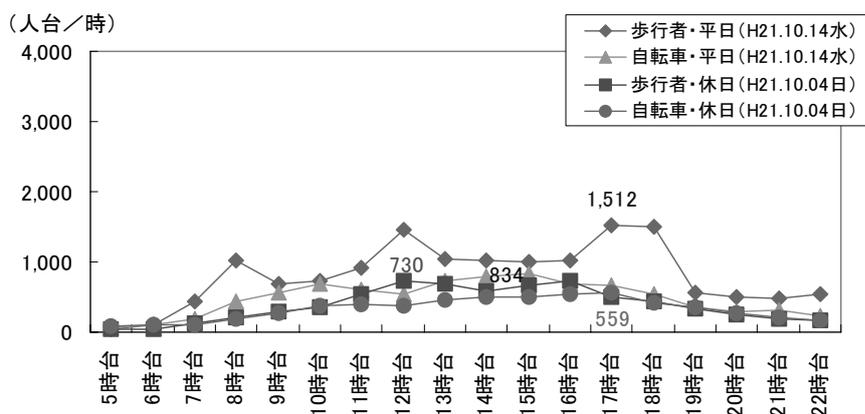
⑤ 時間交通量

- 各交差点における歩行者・自転車交通量の時刻帯推移を見ると、淀屋橋交差点の歩行者交通量では朝・夕の通勤・帰宅時間に突出したピークが見られる。
- 淀屋橋・本町交差点においては、平日昼間で約1,500～2,000人/時の歩行者交通量があることが分かる。
- 一方、新橋交差点では、平日・休日ともに13～18時台に約2,000～2,500人/時の歩行者交通量、約1,000台/時の自転車交通量となっている。

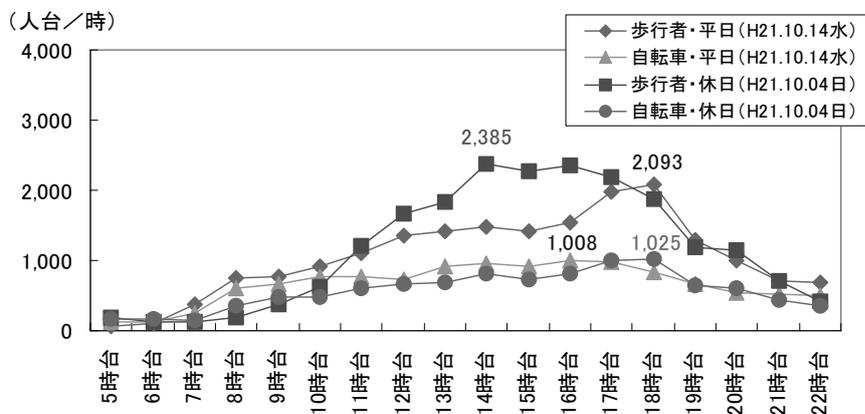
図 御堂筋（東西歩道計）の歩行者・自転車交通量の時刻帯推移



<淀屋橋交差点南側>



<船場中央3交差点北側>



<新橋交差点北側>

資料：大阪国道事務所独自調査(H21)